

犯罪で亡くなった人ばかりではなく、私の娘は34才で血液のガンでなくなりました。病気は仕方ないと他人は言いますが大切な身近な人を亡くした悲しみは同じです。それでも自分は生きていかなければいけません。別れの悲しみは様々でも、元気な人が突然命を断たれることの辛さはこの上ないことがこのパネル展でよくわかりました。ありがとうございました。他人の悲しみに寄り添える自分でありたいと思いました。(70歳代 女性)

「理不尽に命を奪われる」ということについて、あまり想像がつかず、滅多に無いことではないかと思っていましたが、今回の展示を見て飲酒運転や違反運転での被害など、近いところにあるものなのだなと思いました。自分にとって、加害者とも被害者ともなりうる出来事だと思いました。以後このような展示等があればまた参加したいと思います。そして、今回感じたことを胸に留めておきたいです。(10歳代 女性)

靴を1人1人のコメントの下に置いてらっしゃるのが印象深かったです。私たちは、この様な犯罪を減らすために、より関心を持つべきだと思いました。(10歳代 女性)

生きる選択肢を奪われた人たちがいるということを知ることができたという点で有意義。(20歳代 男性)

中学生の頃、僕は初めて友達を殴ってしまった(昼休み)。それまでは常にいじめられていた。でも殴った時は、その友達は午後の授業を休み帰ってしまった。今だに悪い事をしたと思っている。先生にもいつも大人しいのに、なぜ殴ったと聞かれたが答えられなかった。もしその友達が思いつめて自殺でもしたらと思うと悔いしか残らない。何十年経っても忘れることが出来ない事件だった。いじめられていた当時、僕も自殺を考えたことがあるから…。(50歳代 男性)

被害者のご家族の想いがストレートに伝わってきた。死はもっと自分には縁の遠い話だと思っていたが突然出会うかもしれないことを改めて感じ、しっかり生きようと思った。思い悩むことが多いこの時期にこのパネル展に参加できてよかったです。(10歳代 女性)

決して他人事でないことが身にしみた。(30歳代 男性)

車での事故が多い。罪が軽すぎる。被害者の気持ちが分っていない!(70歳代 女性)

被害者支援の寄附を通じて今回のパネル展を知りました。やはり来て良かったです。その各パネルの内容とそれぞれの被害者の人が身につけていた靴が置かれてあり、リアルと言えば言い方が悪いですが、具体的に感じる事が出来ました。今後も出来ることはやっていきたいと感じました。ありがとうございました。(40歳代 男性)

今まで、このような展示を見回った経験はないので、まず新鮮という意味で関心深かった。基本的に身内であれば人生が変わるほどの大事件が、関係から外れているだけでどうでもよくなってしまおうのが、こういった被害の数々だと思う。死んでからでは遅いと分かっている、明日の予定で頭がいっぱいな人がいる一方で、人殺しをする人など、色々いるわけなので、その実態をこうして1つでも伝えてくれるものがあるのなら、個人としては、ありがたいと思った。見た感じ、まだ来ている人は少ないようだが、教育機関でこそ、こういう活動は広がってほしいものである。(20歳代 男性)

去年も見せてもらいましたが、子どもが事故や事件に巻き込まれるのは本当に辛いものです。自分も運転するので気をつけたいと思いました。(40歳代 女性)

犯罪被害にあった方のニュースを一時的に見ることはあっても、継続的に支援をすることについて普段意識することがないので、こういったパネル展を見ると自分自身に起こったらと考えさせられ改めて支援の重要性を認識した。(50歳代 男性)

自分自身の事に関連付けて考える機会となった。(60歳代 女性)

何と事故死が多いことに気づかされる。この無謀な運転を一台も許してはならない! 幼い子ども達の命を一瞬にして奪ってはならない! 信じられない運転で大切な命を奪われた本人と家族の無念さははかり知れない。1つ1つの思いが込められたメッセージが胸の奥に深く伝わって来る。車は1つ間違えば恐ろしい凶器だ!! 今日の日1月の1日という晴天に恵まれ穏やかで楽しそうな人々の姿と亡くなられた人の姿が重なる。この人たちの上で私達が生かされていることを人々が知ることが大事! 今日でも無事生きていることに感謝!! 私自身もいつまで生きられるかわからないが精一杯頑張ろうと思う。(50歳代 女性)

パネルを読んでいたが読むのがしんどくなる程の内容ばかりだった。自分も乗り物に乗る時は安全運転を心がけようと強く思った。残された遺族の気持ちを考えなくてはならない。(10歳代 男性)

犯罪に関しては、どうしてそんなにひどいことをして、人の未来を奪って置いて、加害者は数年で釈放されているのだろう、なぜ人々の税金で生きているのだろうと思った。一生罪を背負い続けて、逃げずに償いとして生き続けてほしいと思う。(20歳代 女性)

あまり見てしまうと泣いてしまうので、さわりくらいしか見ておりません。遺族に寄り添って何かしてあげたいと思えてなりません。(40歳代 女性)

自分より若い歳で犯罪によって命を落としている人が多くいるのを知ってショックを受けた。こういう犯罪をちょっとでも減らせるようにしたいと思った。(10歳代 男性)

堺市在住でこのような展示会があることは知っていたが、なかなか府立大の学祭に来られずにいた。今回日程が合い、来ました。交通事故の犯罪にとっても興味を持った。運転免許を持つ身としては、年々老化を感じているので、ちょっとしたことでイライラすることがあり、運転していてヒヤリとすることがある。今回のことで身に染みて、犯罪になるような車の運転は今まで以上に慎まないといけないと感じた。他の犯罪についてはもちろん、犯罪にあわれた被害者の家族にはもっと支援をしていかないといけないと思う(行政はもちろん)。何よりも犯罪を無くすことが一番です。家庭環境、学校などで犯罪者を作らない教育が必要。(60歳代 男性)

府大生の参加を希望します。(50歳代 男性)

本人が話しているようです。自分のことのように思えます。(60歳代 女性)

突然家族をうばわれた方にお見舞申しあげます。悪気があるなしではなく、今さっきまであった命が奪われるのはあまりにも残酷だと思います。一日でも早く被害者のご家族の心が癒えますようお祈りしております。また、いじめ・暴力は本当によくない。命の大切さを子どもたちが、もっとわかってもらえる社会になることを望みます。(40歳代 女性)

罪のない命、尊い命を急に奪われた深く強い悲しみが遺族の方の言葉と被害者の人の遺品から伝わってきました。そして、簡単に命を奪ってしまう加害者、平然と逃げてしまう加害者の神経は理解できません。しかし、その怒りのやり場はどこにしたら良いのでしょうか？被害者は戻ってきません。展示会を見ていて圧倒的な交通事故の多さを感じました。運転するということは、凶器を持って走っているのと同等という意識と、やはり一人一人が注意を払って運転する。基本的なことかもしれませんが、今を忙しく生きる現代人が忘れていく心だと思います。1人でも被害者が減る世の中になりますように…。(20歳代 女性)

いつも横にいてる子どもや家族。当たり前だと思っていたが、奇跡かなとも思った。(40歳代 女性)

一人一人どんな人でも大切な命。命の価値の尊さを改めて学ばせて頂きました。ささいな事、ささいな感情で命が奪われる、加害者も被害者も家族も苦しいことになる。本当に悲しいこと。皆に真実の愛が注がれますように。(40歳代 男性)

交通事故にしても、いじめにしても一番欠けているものは相手への思いやりや、ゆとりを持った気持ちだと思う。それがあつた人は事故を起こさないし、いじめもしない。だから一人一人思いやりや、ゆとり、そういうものを持ってほしい。(40歳代 男性)

友達を大切にしていれば何かあれば相談するようにする。(50歳代 男性)

車社会が引き起こす事例、人の尊さ、人権を守る、あまりにも無残な情報を、市役所、小学校・中学校・高校・大学でもっとメッセージ展を開くといいのでは。(70歳代 女性)

日常生活、何も無い毎日がどれだけ貴重なことなのか実感した。ただ、被害者の家族だけではなく、加害者の家族となる可能性もゼロではないことにも気づかされました。(40歳代 女性)

学園祭のある時に毎年来ているが、その度に心が重くなっていきます。(40歳代 男性)

加害者の中には、「自分たちは悪くない」、未成年だから保護されている。悪いことをしているのにどうしてそれを認めないのでしょうか？未成年だからといって、どうして重大な犯罪を犯したのに正しい法で裁かれないのか？疑問や怒りが沸き上がります。私は今受験生です。未来を奪われた子どもたちは目ざしたいことがあったと思います。今生きていて、目ざせるところへ改めて目ざそうと思いました。(10歳代 女性)

パネルだけでなく「物」(靴等)と一緒にあるのが問題を身近に感じられてしまっしんどい。(20歳代 女性)

いくら交通ルールや法律を守って生活していても犯罪の被害にあつてしまうことはある。残された家族の気持ちを想像すると、とても悲しい寂しい気持ちになりました。(30歳代 女性)

飲酒運転の取り締まりが強化されているとはいえ、今だにあること。そしてスマホを見ながらの運転。パネル展にあつた子どもたちからのメッセージを多くの人に見てもらい、やさしい気持ち、心を大人たちに持ってほしいと思う。(60歳代 男性)

犯罪被害者の方たちが短い命で、人生を終えさせられたと思うととても悲しくなりました。もっと支援の場が増えて欲しいです。(20歳代 女性)

自分の子どもが事故にあつた可能性があると思うと、何とも言えない気持ちになります。(40歳代 男性)

その場その場の状況がよくわかり、とても感じるものがありました。これからの時代もみんな安心して暮らせる世の中になればと思います。ありがとうございました。（60歳代 女性）

若くして子どもなどが車の無謀な事故に巻き込まれる悲惨な現状がわかりました。これから車の運転に気をつける人が多くなって欲しいと思いました。また、AIなどにより自動車無人運転化により、事故が少しでも今よりも無くなって欲しいと思いました。（40歳代 男性）

私は車を運転しますが、この事例を心に刻み安全運転をします。（40歳代 男性）

生きてくても生きられなかった…。与えられた命を大切にしまよと強く思った。一日一日を大切に…。（30歳代 女性）

子どもを持つ母として、なんとも辛い気持ちになりました。我が子を思う気持ちはみんな一緒です。そのご家庭のことを思うと辛くて辛くて…。私にできることは何だろうと考えさせられる時間でした。今後も、このようなイベントに参加したいと思います。（40歳代 女性）

交通事故や犯罪が無くなれば良いですね。（40歳代 男性）

京都アニメーションの事件も大変むごいものでした。ひどい交通事故も後を絶ちません。人の心が思いやりを忘れ、尖っている限り、事件、事故は無くならないのかもしれないかもしれません。これからもメッセージ展を通して訴え続けて下さい。その訴えが一人でも多くの人の心に届くことを祈りつつ。（60歳代 男性）

幸せな毎日を暮らしている私からすると、とても信じられない事ばかりです。大切な！大切な子どもたちです。（50歳代 女性）

私自身、車の運転をするのですが、本当に安全運転に心がけようと再度認識しました。少しの誤った運転により、皆さんの命が奪われるようなことがないように…。（40歳代 女性）

交通事故の死亡例がほとんどでした。もちろん、それらも大変な事件であることは理解しております。殺人事件の例をもう少し見たかったです。車も前方や横にいる人を察してストップするような装置もつき始めています。将来は全車が事故を防げる車になっていると私は予測します。早急にそういう状況になって頂きたいものです。（50歳代 女性）

子どもが府立大でお世話になっており、本日学祭があるとのことで来させて頂きました。我が家も4人が免許を持っています。車は本当に便利であります、凶器でもあります。身近な所で起こってしまった悲惨な事故！よく通る道でもあります。今では、舗装もされ、スピードも出せないように色々と工夫がされましたが、まずは一人一人が命の大切さを感じ、ゆとりをもった運転をすることだと思います。運転免許取得や更新時にこのようなパネル展をしてみたいかでしょうか？亡くなられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。帰路気を付けて帰ります。（40歳代 女性）

展示品があることで実感がさらに増しました。（50歳代 男性）

このような事が起きないよう0件にはならないかもしれないけれど、減らす策を市や国が協力して行ってほしい。（40歳代 女性）

交通事故については、皆が十分な注意をするべき。命を大切にする教育が必要と思いました。（50歳代 女性）

目を背けたい気持ちと向き合おうとする気持ちと。（50歳代 男性）

前日まで普通に、何も無い日常、当たり前の日常が本当に一瞬で変わってしまうということがとても怖い、現実として今も起こっているのが悲しくなりません。月日が経って忘れられることのないようにこのようなイベントがあると良いなと思います。私もいつどこで事故、事件に巻き込まれるか分からないので自分の身は自分で守れるよう意識しようと思いました。被害者さんの靴や身につけていたものがあると、“生きていたんだな”と思えるので良かったです。ありがとうございました。（20歳代 女性）

前にも来て、見ていったけど、今回も来て、見て、こういう事が起こっているのを知るとなんとも言えず、悲しくなってくる。こういうパネル展をしなくてもいいような世の中になればいいのと思う。（30歳代 男性）

一人一人の生前の様子がパネルから伝わってきて、見ていると涙がこみ上がってきました。もっと生きたかったらうな…。と思ったのと同時に、私自身も「今」を大切に強く生きていこうと思いました。法律が制定されていなかったり、警察の闇で隠されてしまったり。そんな現状が少しずつでも無くなって、すべての被害者の方が救われる、ご家族が救われる社会になってほしい、そう思います。みなさんの「命」、「死」が無駄だとならないように語り継いでいかないといけないと思います。（20歳代 女性）

テレビ、新聞の情報だけで見ていたけれど本当の言葉やお気持ちを直接に聞けました。涙が出て…。（50歳代 女性）

決して無くなることのない犯罪被害に対し強い憤りを思います。(50歳代 男性)

ニュースで聞いた事件もあり、当時を思い出しました。被害者の方々の無念が伝わり悲しいです。(50歳代 女性)

自分で子どもを育てるようになり、小さい子の靴を見るのが悲しかった。(40歳代 女性)

報道されていること、されていないこと、どちらも風化させないために、こういう展示は続けていくことが必要。被害者及び被害者家族が加害者より守られない社会はやっぱりおかしいと常々思っていました。今後も頑張ってください。(40歳代 女性)

身近に感じる事がなかった死と生を感じることができました。子どもたちにもとてもよい経験をさせてあげられたと思います。(40歳代 女性)

今、自分が出来ることをしっかりやろうと改めて感じました。(10歳代 男性)

もう少し被害者の気持ちを考えた刑を与えるべきだと思いました。被害者の命は奪われるのに、加害者は普通の人生を送っていきるのは軽すぎると思います。事故など、自分もあり得る話なので、十分に気をつけようと思います。このような活動が増えて、1人でも多くの人の心に届くように願っています。ありがとうございます。(20歳代 女性)

悲しい、辛い、無念だったと思う。(50歳代 女性)

被害者の方が、あまりにも理不尽過ぎる。日本の法律は、加害者を守り過ぎている。現在の少年法や道路交通法は、緩すぎる。厳罰化を望むが、一般の人は無関心なので、テレビ、ラジオ、インターネットを使って、何か出来ないかと思う。堺市だけではだめなので、日本人全員が考えるようにしないとイケない。警察や裁判所の人間の考え方を変えさせないとイケない。(60歳代 男性)

初めて、こういうパネル展を見ました。見るだけで、心が痛くなり、こんなにも無免許運転、危険運転が多いのかと残念でなりません。学校でもこういうことがあるということを伝えてもらい、一人一人の意識を高めていってもらえたらと思いました。(40歳代 女性)

事故で亡くなった方の無念さや、ご家族の気持ちがわかるものでした。(50歳代 女性)

命の大切さを改めて感じた。(20歳代 男性)

意外と身近な所で事故は起きているので、日頃から気をつけようと改めて思いました。(10歳代 男性)

非常に心にくるものがありました。犯罪に誰もがあう可能性が…。もっと良い社会になってほしいです。(40歳代 男性)

最初は、息子が犯罪に巻き込まれない為に参考にさせていただこうと見始めました。見ているうちに息子がこの方達の立場だったら…と想像したり、犯罪内容を見ていくにしたがって、何とも言い表せない言葉が、まとまらない言葉が、まとまらない感情が湧いてきました。悔しい、辛い、悲しい、怒り、など。愛する人がいなくなり(命を奪われ)相手を憎んでも自分の手では何もできず、法で裁かれたとしても納得がいかない。しかも、その法には、被害家族からすれば生ぬるい、緩いところがあり、抜け道もある。誰にでも意図しない過失はあるけれど、命が奪われたことには変わりないので、許されることではない。刑罰を受け、さらに、日常生活を送れたとしても、一生罪を背負って反省していける何か(制度・決まり)などもあればよいと思う。(40歳代 女性)

被害者家族の思いだけでなく、本人が思う将来への希望や実際の足あと(靴)を見ることで、想像しきれない本人の無念さがあるなと思いました。(20歳代 女性)

心にひびく。悲しい。(40歳代 女性)

その人が生きていた証メッセージを読んで、何故殺されないといけないのかと思うと涙が出てきた。加害者の心の弱さも感じた。子どもが3人いますが、精一杯生きていくすばらしさを伝えられる大人でいようと思った。(40歳代 女性)

堺市で8,000件以上もあると、いつ自分や家族の身に起こるかもと思うと怖いと感じた。どれだけ自分が気をつけていても周りの人たちも自覚をしないと変わらない。子どもが見てくるといったので、ショックとか大丈夫かな?と思いつつ、つき合ったけど大事なことだと思いました。(40歳代 女性)

親として、車の運転をする者として、いつでも加害者にも被害者にもなる可能性がある。日頃から、ニュースを見るたび“他人事”ではないと思ってはいますが、こうして一人一人のパネルを見させて頂くと、本人はもちろんのこと、周囲の人々の悲しみ、苦しみ、そして今も生きることへ向きあう姿勢が伝わってきます。何ができる訳ではありませんが、今日、一人一人読ませて頂いた人や、その家族の方々のことを少しでも自分なりに伝えていければと思います。そして、車の運転には充分気をつけたいと思います。そして理不尽な思いをしている法律や制度について声をあげる機会があれば声をあげたいと思います。辛いことがいっぱいあると思います。頑張ってるからご家族の皆様、どうか無理をせず、一日一日大切に生きてください。(40歳代 女性)

悲しくなりました。自分も運転するので気をつけようと思いました。(30歳代 女性)

当事者でしかわからないお気持ちの中展示して下さい、ありがとうございました。(50歳代 女性)

他人事ではないな、いつ当事者になるかわからないと思った。文章の位置が読みづらい場所だと思ったけれど、人によって目の高さが違うので仕方ないかな…。(50歳代 女性)

生きてるだけで幸せと思った。(30歳代 男性)

私はこのパネル展を最後まで見る事が出来ませんでした。なぜなら、被害者がどういう形でお亡くなりになられたのかわかっていくうちに、とても悲しくなってしまったからです。事故は誰にでも被害者・加害者になる可能性があるため、皆がお互いに気をつけて事故を必ず無くしたいです。(10歳代 男性)

交通事故など無くなればいい。(20歳代 男性)

車の運転や生活の中での意識を改めて大切にしたいと感じました。ありがとうございました。(30歳代 男性)